

平成 30 年度第 1 回大阪府立弥生文化博物館指定管理者評価委員会
議事要旨

- 1 日 時 平成 30 年 6 月 15 日（金）14 時～16 時 30 分
- 2 場 所 大阪府立弥生文化博物館 1 階会議室
- 3 出席委員 伊藤委員、奥村委員、香川委員、高井委員、團委員
- 4 議事内容 評価項目及び評価基準にかかる指標の設定について

【主な意見】

- I-(3)「入館者数」について、**50,000** 人という評価基準は現段階では妥当と言える。今後の動向を見て必要となれば見直しを図ることとする。

- I-(3)「入館者数」について、高校生・大学生の利用者を増やす工夫や来館回数が **11～30** 回程度である年間パスポート利用者への挺入れを行うべき。高校生・大学生については東京都内の博物館で実施しているキャンパスメンバーの制度が参考になる。

- I-(3)「館外利用者数」について、平成 **29** 年度と同じ評価基準となっているが、平成 **29** 年度の実績は基準を大きく下回っている。あらためて適切な評価基準を検討すべき。
⇒事務局：H31 年度の評価基準設定に向け、今後、適切な基準について検討していく。

- I-(3)「木曜大学」について、担当学芸員の勤務体系の変更に伴う評価基準の見直しは妥当である。

- I-(4)「SNS の活用」について、若年層は **Facebook** を離れてきているため、他の媒体も検討すべき。

- I-(7)「危機管理」の評価基準に「マニュアルの策定」とあるが、すでに策定されているはずであり評価基準にはふさわしくない。
⇒事務局：適切な文言に修正する。

- 満足度調査について、「年齢層」と「当館（本展覧会）を知った媒体」の関係のクロスチェックを行うとよい。

【今後の進め方】

評価票について、意見を踏まえて事務局で修正案を作成する。議事要旨とともに委員長の確認を得たうえでメールにて各委員に報告する。